

認知症、正しく知ればつらくない

認知症に関する悩みや不安、心配事…。抱え込まずにまずはご相談ください。
地域包括支援センターの職員や認知症地域支援推進員が対応します。

認知症は病気です

認知症は脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったために起こります。そのため、誰にでも起こる可能性があります。

大切なのは 早期発見、早期対応!!

認知症の中には、治療をすると治るものがあります。早期に治療やケアをすることで、症状を和らげたり、薬で進行を遅らせることもできます。



また、町では「認知症高齢者家族の会」を月1回行っています。

認知症の方の介護をしている家族の方たちが集まって、家族の悩み相談や勉強会をしています。ご家族の方ならどなたでも参加できます。

～6月の認知症高齢者家族の会～

日 時：6月15日(土) 午後1時30分～3時30分
場 所：千寿苑
問い合わせ先：山都町地域包括支援センター(千寿苑 内)
TEL 72-1677(直通)

里親になってくださる方を募集しています

里親制度は、児童福祉法に基づいて里親登録をされた方に、子どもの養育を委託する制度です。里親制度の詳細については、児童相談所へお問い合わせください。

問い合わせ先：熊本県中央児童相談所
TEL 096-381-4451 FAX 096-381-4412

保健センターだより vol.22

風しんの予防接種はお済みですか?

.....風しんの患者さんが増えています.....

今年に入り、風しんの患者数が全国で急増しています。熊本県でも、1月～4月まで41件報告されており、すでに昨年1年間の8倍以上発生しています。今後流行が拡大する可能性がありますので、予防接種などの予防対策をとりましょう。

風しんの予防対策

- 風しんの定期予防接種の対象者は、必ず予防接種を受けましょう。
〈対象者〉第1期：生後12ヶ月～24ヶ月
第2期：小学校就学前1年間
※現在、風しんの予防接種は、はしか・風しん混合ワクチン(MRワクチン)で定期接種を実施しています。
- 妊婦に感染しないために、特に以下のうち十分な免疫がない方(抗体価が十分であると確認できた方以外の方)は、任意で予防接種を受けることを検討しましょう。
 - ・妊婦の夫、子どもその他同居の家族
 - ・10代後半から40代の女性(特に妊娠する可能性が高い方)
 - ・産褥早期の女性※妊娠中は風しんの予防接種を受けることができません。
※過去に予防接種を受けていない方はなるべく早く接種しましょう。また、過去に接種を受けたり、風しんにかかったことがあっても、再度予防接種をしてもかまいません。
任意接種は費用は自己負担となりますので、小児科や内科等の医療機関にお問い合わせください。

《風しん》

2～3週間の潜伏期を経て、発疹、発熱、リンパ節の腫れが見られます。ただし、風しんに感染しても明らかな症状がでない場合があります。子どもでは比較的軽く済みますが、まれに、脳炎、血小板減少性紫斑病といった合併症がおこることがあります。また、大人に感染すると、発熱や発疹の期間が子どもと比べて長く、関節痛が強いことが多いと言われています。

《先天性風しん症候群》

妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんに感染すると、胎児が風しんウイルスに感染し、難聴、心疾患、白内障、精神や身体の発達の遅れ等の障がいをもった赤ちゃんが生まれる可能性があります。お母さんが風しんにかかったからといって、必ずしも赤ちゃんが障がいをもって生まれてくるわけではありません。



風しんは、初夏にかけて流行期を迎えます。今後の動向に注意してください。